



隊員にお地蔵様の説明をする市村さん(左)と田中さん(別所公会堂)

小学生が高萩の史跡探検

案内役は日高高校生 地域への関心高める

県立日高高校(日高市旭ヶ丘)の3年生が案内役を務め、市内の小学生たちが同市高萩地区の史跡を巡る「日高高萩の歴史スポット探検隊」が、22日に行われた。夏休み期間を利用して、小学生の郷土愛の醸成と地域の人々との交流を目的に市教育委員会が実施している「ひ・まわり探検隊」事業の一環。

案内役は、日高高校の授業で「日本史探究」を選択している市村紗綾さん(3年、高麗川中卒)、田中陽菜さん(同、高萩北中卒)が務めたほか、歴史好きという鶴ヶ島清風高校の宇井颯士(はやくと)さん(3年、高萩中卒)も同行した。

朝から強い陽射しが照り付ける中、武蔵高萩駅北口に集った隊員が武蔵高萩駅北口に集合。ひ・まわり探検隊実行委員の松田征彦さんが、水分補給や体調に気を付けて探検するよう児童たちに声をかけ、出発した。

一行は、R山越線を横切る鎌倉街道、別所公会堂、小畔川河畔、旧高萩(日高)郵便局を巡り、市村さんと田中さんが作ったワークシートを手に、児童たちは各所で説明に耳を傾けた。

参加した児童は、いずれも歴史好きのようで、出題されたクイズに元気に答えるなど、案内役らを驚かせた。

また、養蚕が盛んだった

1811(文化8)年、高萩村の村人によって建立された別所公会堂境内の「縄



旧高萩郵便局前で記念撮影

明神は、市内唯一の珍しい神様と紹介されると、高萩小から参加した女子児童は、石に刻まれた文字を丁寧に書き留めた。さらに出土品などから高麗郡の郡庁が置かれていたとされる小畔川右岸の堀ノ内遺跡、

文化Web https://www.bunkashinbun.co.jp

日刊 (但し、日・月曜日、祝日の翌日を除く)

飯能・日高の情報満載 郷土の良識

新文 聞化

発行所：埼玉県飯能市原市場81
〒357-0124 電話(042)978-5144 文化新聞株式会社

対岸の玉神、拾石(じゅうごく)遺跡、杉並木で知られる日光千人同心街道(日光街道)旭ヶ丘地区にあった旧高萩飛行場跡地を紹介された。

国道407号脇の旧高萩(日高)郵便局では、同局を建てた時の有力者・犬竹権次郎さんの曾孫・犬竹一浩さんが探検隊を出迎え、郵便局や住時の高萩地域について説明した。

児童たちは、高萩地域の魅力や歴史を肌で感じる貴重な体験とともに、地元を高を愛し、地域への関心も深めた様子。

今回の探検のために資料作りなど準備してきた案内

役の市村さんは楽しかったと汗を拭いながら笑顔で振り返り、田中さんは小学生が賢いのでびっくりしたと話した。

インターネットなどで簡単に情報が手に入る時代であっても、実際に現場を訪れて探究する楽しさを、参加した高校生、小学生ともに実感したようだ。

日高高校では、引き続きひ・まわり探検隊事業として、女子サッカー部による「わくわくサッカー教室(7月29日)」「かるた部による百人一首を楽しくもうぐ競技かるた入門(8月6日)」を開催。学生たちが小学生のガイド役を務める。

